

我が国における Wi-Fi の整備実態に関する一考察 - 主要な空港・港・観光地・ターミナル駅を対象として -

金沢大学 理工研究域環境デザイン学系 正会員 ○藤生 慎
金沢大学 理工研究域環境デザイン学系 学生会員 大澤 脩司
金沢大学 理工研究域環境デザイン学系 正会員 中山晶一郎
金沢大学 理工研究域環境デザイン学系 フェロー 高山 純一

1. はじめに

訪日外国人の数は堅調に増加し、2014 年には過去最高の 1341 万 4 千人が我が国を訪れた¹⁾。我が国を訪れた外国人観光客を対象とした満足度調査は各種実施されており、外国人観光客の満足・不満足の内容・程度が把握されている²⁾。我が国を訪れた外国人観光客が旅行中に困ったことの第 1 位は「無料の公衆無線 LAN 環境がないこと」であった³⁾。日本人が利用可能な無料の公衆無線 LAN は整備が進みつつあるが、外国人を対象とした無料の公衆無線 LAN の整備は大都市では導入が進みつつある。例えば、東京の地下鉄駅における訪日観光客向けの無料無線 LAN サービス(図-2)をはじめ主要な空港などでは、無料の公衆無線 LAN を利用することができる。一方、地方部や観光地ではほとんど無料の公衆無線 LAN に接続できない状況である。このような状況を鑑みて地方自治体では、無料の公衆無線 LAN の整備が始まりつつある(図-3)。そこで、本研究では、我が国の空港・駅・港・観光地を対象として無料の公衆無線 LAN サービスの提供実態を調査し、外国人観光客の接続可能性を検証することとした。

2. 分析データ

本研究の調査対象は、空港・港湾・観光地・主要ターミナル駅とした(表-1)。

空港は、「平成 25 年度 国土数値情報 空港データ」に記載されている全国 96 空港のうち、供用休止や現



図-1 訪日外国人者数の推移



図-2 訪日客を対象とした無線 LAN サービス³⁾



図-3 観光地における無料 Wi-Fi の例⁴⁾

キーワード 外国人観光客, 無料 Wi-Fi, 観光地
交通施設整備

連絡先 〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学理工研究域環境デザイン学系
TEL: 076-234-4914

表-1 調査概要

分類	内容	対象数
空港	「平成25年度 国土数値情報 空港データ」に記載されている全国96空港のうち、供用休止や現在定期便が無い空港以外を対象とする	84
港湾	日本海側:日本海側拠点港に選定された港のうち、定点クルーズ、背後観光地クルーズ、国際フェリー・国際RORO船、国際定期旅客に属する港湾を対象とする 太平洋側:クルーズ寄港実績の多い函館港、仙台港、横浜港、東京港、大阪港、神戸港を対象とする	19
観光地	北海道	32
	東北	68
	関東	177
	信越	25
	北陸	32
	東海	71
	近畿	317
	中国	88
	四国	63
	九州	92
	沖縄	15

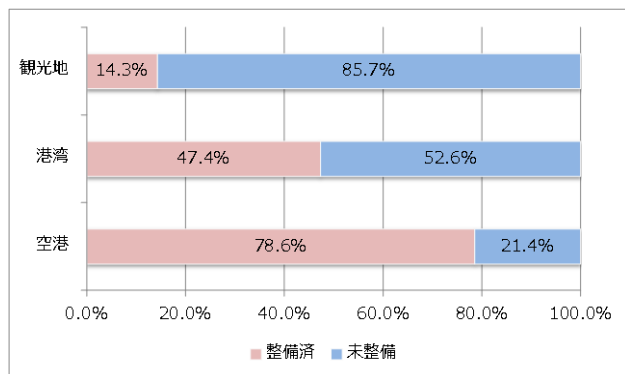


図-4 分類別（空港・港湾・観光地）整備率

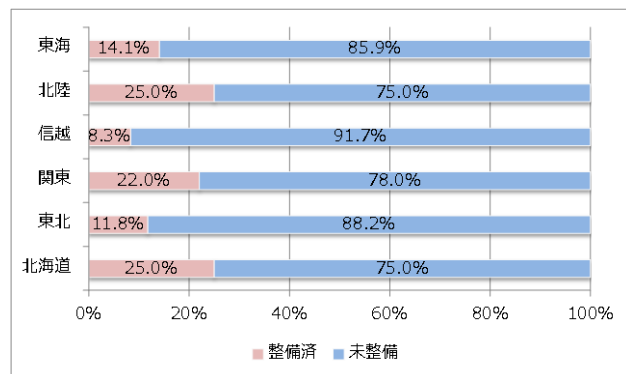


図-5 地域別（観光地）整備率

現在定期便が無い空港以外を対象とした。（対象数：84）

港湾は、日本海側は拠点港に選定された港のうち、定点クルーズ、背後観光地クルーズ、国際フェリー・国際RORO船、国際定期旅客に属する港湾を対象とした。太平洋側はクルーズ寄港実績の多い函館港、仙台港、横浜港、東京港、大阪港、神戸港を対象とした。（対象数：19）

観光地は、「平成22年度 国土数値情報 観光資源データ」のうち、観光資源（点）のデータに記載のある観光地を対象とした。ただし、資源種別が河川、海岸、岩石・洞窟、峡谷、原野、湖沼、高原、山岳、自然現象、湿原、植物、滝、島、動物といった自然に関する資源については、その多くの場所が無線LAN環境の整備が困難であることが推測されることから、これらは対象外とした。また、年中行事に関しては、常時無線LAN環境が整備されている必要性が希薄であることから、対象外とした。（対象数：980）

3. Wi-Fiの整備実態に関する分析

図-4に分類別（空港・港湾・観光地）のWi-Fiの整備率を示す。Wi-Fiの整備率は空港では78.6%、港湾では47.4%、観光地では14.3%であった。空港は高い整備率であったが、港湾・観光地は50%を下

回る結果となった。観光地のWi-Fiの整備率は特に低く、訪日外国人が増加している昨今の状況を鑑みると無料のWi-Fi環境の整備が急務である。また、我が国ではクルーズ客船の寄港が増加しており港湾においても無料のWi-Fi整備が必要であると考えられる。図-5に観光地の地域別整備率を示す。観光地の未整備率は約80%であり、多くの観光地で無料Wi-Fiを使用できない環境にあることが明らかとなった。北海道や関東といった我が国の主要な観光地を有する地域でも、無料Wi-Fiの整備率は、それぞれ25%、22%であった。

4. まとめと今後の課題

本研究では、空港・港湾・観光地を対象として無料Wi-Fiの整備率を調査した。その結果、空港では整備が進んでいる一方、港湾や観光地では低い整備率であり、外国人観光客が無料Wi-Fiに接続しにくい環境であることが明らかとなった。また、地方別に集計した結果、多くの観光地を有する北海道でも整備率は25%に留まった。

参考文献

- 1) 観光庁HP (<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>)
- 2) 訪日外国人消費動向調査、観光庁
- 3) 日本経済新聞（2015年3月25日）訪日外国人の不満1位 「公衆無線LAN後進国」脱却へ
- 4) 金沢市HP (<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/>)